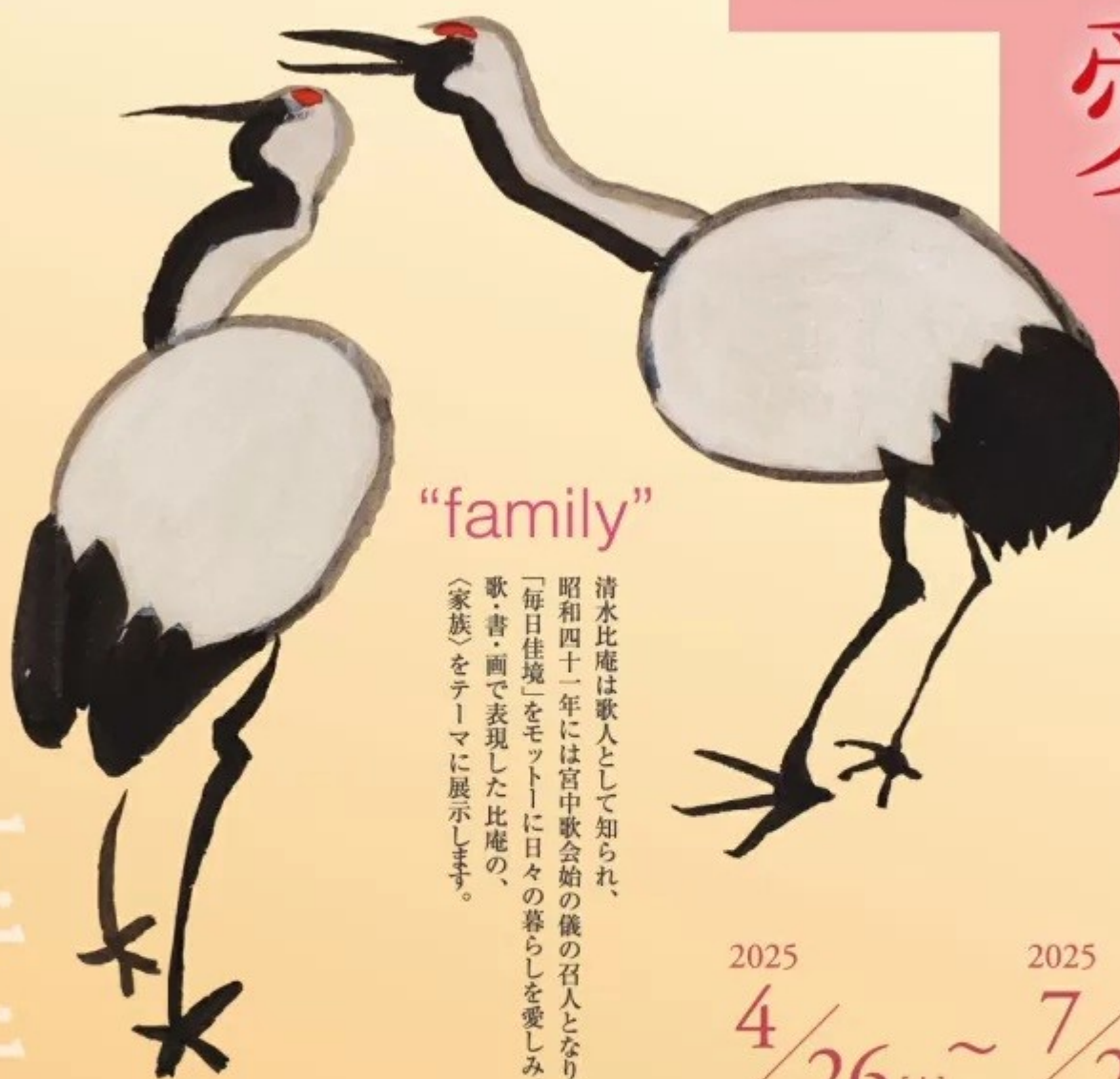


没後50年記念 清水比庵展

比庵、愛し



“family”

清水比庵は歌人として知られ、昭和四十一年には宮中歌会始の儀の召人となりました。「毎日佳境」をモットーに日々の暮らしを愛しみ、歌・書・画で表現した比庵の、〈家族〉をテーマに展示します。

2025 4/26 [土] ~ 2025 7/27 [日]

●開館時間 / 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)

関連行事

「比庵、愛し」比庵 孫娘さんによるトーク

6月1日(日)14:00 ~

講師：ワーデン充子氏(清水比庵ご令孫)

会場：1階「きび美ホール」、2階「翰墨の間」

予約不要、要入館料。

比庵と共に暮らし、その日常生活や作歌、作画ぶりを見てこられたお孫さんが、在住されているロサンゼルスから帰国し、比庵と家族について語ってくださいます。

茶会 第9回 聴竹亭茶会「清水比庵と出会う」

5月31日(土)

第一席 11:00 ~、第二席 13:30 ~、第三席 15:00 ~ (満席)

各席10名様(各席1時間程度を予定)

会場：「翰墨の間」および茶室「聴竹亭」(一部立礼席)

会費：2,000円(税込・ミュージアム入館料含む)

きび美倶楽部会員1,300円(税込)

玉島松清園の特製生菓子付き

展示解説

4月29日(火・祝)14:00 ~

講師：子川さつき(当館学芸員) 会場：2階「翰墨の間」

予約不要、要入館料。



きび美
ミュージアム

kibibi museum

kibibi museum

比庵、愛し

ひあん

いと

期間 2025年4月26日(土)～2025年7月27日(日)

休館日：月、火曜日

※4月29日(火・祝)、5月5日(月・祝)、6日(火・祝)、7月21日(月・祝)は開館、
5月7日(水)～9日(金)、7月23日(水)は休館。

※展示替により休館日が変更になる場合がございます。当館のwebサイト、Instagramでご確認ください。



清水比庵《明日に待つ》

高梁市出身の清水比庵(しみずひあん)(1883～1975)は、勤めをしながら作歌に励んでいました。退職後、請われて日光町長をつとめますが、その座からも退いて作歌に専念しようとした頃、妻が亡くなります。気を落とす比庵でしたが、同じ年に弟とともに第一回野水会展を開催、盛況を呈しました。家族は比庵のよき理解者であり、身近な存在としてモチーフともなりました。妻を詠んだ歌や、弟との合作などを通して、家族やふるさと、身の回りのささやかなものを慈しみ、愛しむ比庵の心をご覧ください。

1 とうとう 刀陶の間 吉備と出会う

細工物 特集展

会期 4月26日(土)～6月15日(日)

「吉備の真髄と出会う」をテーマに、考古遺物、備前焼、刀剣を展示します。備前焼コーナーでは、「細工物」を特集します。

細工物は江戸時代～昭和にかけ盛んに制作されました。獅子、鳥、人物など具象的なモチーフを写實的に形作るのが特徴です。特にデザインや彩色に工夫が凝らされた大型の香炉や置物は、乾燥や焼成の際に壊れたりしないよう、各工程でも細心の注意が払われました。そうした細工物の技と美を、個人コレクションのご協力を得てご紹介いたします。



《彩色備前 双鶏置物》個人蔵



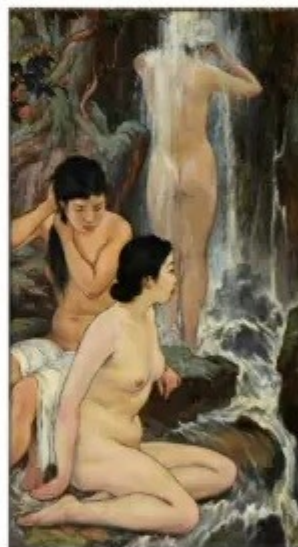
《白備前 椿に鶏香炉》個人蔵

表面 清水比庵《大空は》(部分)

2 ゆうさい 有彩の間 吉備の油彩画の輝き

「百花生ず 吉備彩描」をテーマに、地元作家の油彩画をご紹介します。

倉敷市平田出身の画家・寺松国太郎(てらまつくにたろう)の作品を展示します。



寺松国太郎《海に立つ裸婦》

倉敷美観地区へのアクセス

- 倉敷ICから車で 約15分
- 早鳥ICから車で 約15分
- JR倉敷駅から徒歩 約15分



開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	月、火曜日 4月29日(火・祝)、5月5日(月・祝)、6日(火・祝)、7月21日(月・祝)は開館、 5月7日(水)～9日(金)、7月23日(水)は休館。
入館料	一般 700円 中高生 500円 小学生 300円 ※Eチケットを当館ウェブサイトで販売しております ※10名以上の団体は2割引 ※車椅子の方が入館される際の介助者は無料

吉備と出会う 吉備に恋する



きび美ミュージアム

一般財団法人 倉敷山田コレクション きび美ミュージアム

〒710-0046 岡山県倉敷市中央1丁目4-22 「くらしき育ちGARDEN」内

TEL: 086-425-8080 FAX: 086-425-8181 info@kibibi.or.jp

https://kibibi.or.jp

